

第4期地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」（素案） 区民意見募集の実施結果について

第4期青葉区地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」を策定するにあたり、区民意見募集を実施し、皆様から貴重なご意見・ご感想をいただきました。

1 実施概要

(1) 実施期間 令和3年2月25日(木)～4月16日(金)まで

(2) 周知方法

ア 素案冊子の配架先

青葉区役所、青葉区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティハウス、行政サービスコーナー、青葉区中途障害者地域活動センター 青葉の風、青葉区生活支援センター ほっとサロン青葉、あおば地域活動ホーム すてっぷ、青葉区地域子育て支援拠点 ラフール等

イ 関係団体等への送付・説明

青葉区連合自治会・町内会、地区社会福祉協議会、青葉区民生委員児童委員協議会、青葉区保健活動推進委員会、青葉区青少年指導員連絡協議会、青葉区スポーツ推進委員連絡協議会、青葉区老人クラブ連合会、ボランティア・市民活動団体分科会、青葉区地域自立支援協議会、当事者団体部会・障害者施設連絡会、青葉区PTA連絡協議会、青葉区中学校長会、青葉区小学校長会、青葉区食生活等改善推進委員会、そのほか関連団体・施設等

ウ その他

横浜市青葉区ホームページ、広報よこはま青葉区版3月号への掲載

2 実施結果

(1) 意見総数 総数 7件

(2) 意見提出方法 はがき 4件、FAX 2件、メール 1件

(3) 項目別意見数

項目	意見
計画内容について	3件
地域の皆さんで取り組みそうなこと・心がけると良いこと	1件
その他	3件

3 いただいた主なご意見

NO	ご意見の内容	素案 ページ	対応の考え方
1	感染症対策を何らかの形で、冒頭に挿入していただけないか。(所信表明のイメージ)	P28 ～ P29	コラム「地域がつながり続けるための取組」を掲載します。新型コロナウイルス感染症等の対策を考慮して、新しい生活様式においても地域がつながり続けられるような工夫を載せています。
2	地区別計画の策定など、全体的に多少遅れていると思う。地区連だけではなく、地域の意見が大事だと思う。	その他	地区別計画では、推進会議で地域のさまざまな方のご意見をいただくとともに、アンケートを行う等、地域住民の方のご意見を集約しながら計画に反映しています。
3	いろんなボランティアや団体などがあり、消費生活推進員などもいるので、その人達の意見も取り入れられたらと思う。個の取組をイツコムで流したり、タウンニュースで宣伝してもらっても大事だと思う。地元の新聞店に協力してもらってもいいと思う。商店街ごとのイベントも含めたり、青葉区がお祭りのまちなればいいと思う。	P27	柱3の取組紹介に、イツコムでのテレビ番組やFMラジオ等での周知について、掲載しました。青葉区役所広報紙など、地域の活動を発信しています。計画策定にあたり、「地区別推進会議」「地区社会福祉協議会」における意見交換や、民生委員児童委員・主任児童委員・子育て支援者、PTA、障害当事者団体への「アンケート及びグループインタビュー」を実施し、計画に反映してきました。また、今回の区民意見募集においても、ボランティア・市民活動団体分科会等に素案をご説明するなど、様々な地域住民の方々から広くご意見をいただいています。
4	イベントを多く作ることが活性化につながると思う。それには公園や広場を活用することで、四季に応じたいろいろなイベントを計画したらいいと思う。野外音楽会、焼き芋、フラダンス、ペタンク、球技、野外パーティーでもいいので、集まることが大事。そして、何かやったということが大事。区役所のやる区民祭のような地区版を考えてもいい。スポーツ大会もいい、区民マラソンのイベントや運動会的なものも考えられる。公園の美化清掃、各公園のイベントの様子を全区民に分かるように他の地区の公園に出かけてもいいようにすれば、区民の広がりができる。谷本川を挟んで行ったり来たりできるといい。あれこれ書いたが、区民会議の人が策定委員会に入っていないのが残念。また、明るい選挙推進委員も入っているといい。	P32～ P61	区内の各地区では、地域のつながりづくりなどのため、様々なイベントが実施されています。地区別計画のページでは、そうした事例を写真も交えて掲載します。計画策定にあたり、「地区別推進会議」「地区社会福祉協議会」における意見交換や、民生委員児童委員・主任児童委員・子育て支援者、PTA、障害当事者団体への「アンケート及びグループインタビュー」を実施し、計画に反映してきました。また、今回の区民意見募集においても、ボランティア・市民活動団体分科会等に素案をご説明するなど、様々な地域住民の方々から広くご意見をいただいています。
5	肝心の行動計画で柱①②③の各冒頭で具体的な数値データが記されているのはよい。しかしそれを受けての取組にはこのデータが生かされず、抽象的などこかで聞いたり見たりした言葉が並んでいるだけです。その結果、活動についての具体的なイメージが浮かばずなにやらしようとしているらしいくらいで読後感は何も残らないのは残念です。例えば柱②で参加意欲のある方が4割以上あるのは当然といえますが素晴らしいことでもあります。この地域の潜在力を生かすためになにをするか、具体的にある地域で現実にごういった人たちが参加出来るあるいはしている活動はどんなジャンルがあり、その各々にどれだけの方が参加しているのか。ジャンルとして活動自体が手薄なのはどこか、また活動の機会なり組織なりはあるが参加数が少ないのはなにかと具体的に把握することにより何が不足しているのかを掴み個別に対策を考える。抽象的な文面を並べるのではなくデータから始まり、分析して具体的なアプローチを打ち出していく。そういった姿勢が感じられたらと思います。	P16～ P27	柱ごとに青葉区が抱える課題・現状のデータをさらに追加しました。そのうえで、「5年後に目指したい青葉区の姿」を記載し、「区役所・区社協・地域ケアプラザが取り組んでいくこと」について、すでに取り組んでいるものについては、写真も交えた取組紹介のページを設け、具体的な取組として紹介しています。
6	P15 ⑧等 青葉区地域子育て拠点も、いろいろな場に加わるといいと思います。	P19	柱1の取組紹介の欄に、地域子育て支援拠点を掲載します。
7	5年後の青葉区の姿に対しての12ページの目指したいことについて、「～している、～しやすくなっている…」と記載されているが、何をどうすればどうなるのか、具体的な目標、指標が無ければ達成の度合も計れないし、実現しにくいのではないのでしょうか。例えば、「安心して子育てができ、子どもと暮らしやすくなっている」については、制度上の改善点や子育て施設の具体的な数値目標を立案する。また、高齢化が進む中、少子化に対応するために青葉区として子育て世代を増やす、呼び込む方策の具体化も必要なのではないでしょうか。	その他	各柱において、「区役所・区社協・地域ケアプラザが取り組んでいくこと」の具体的なイメージができるように、写真も交えた取組紹介のページを設けました。計画の推進においては、各取組ごとに事業を定め、進捗管理を行うとともに、地域福祉保健計画推進部会の中で地域の方々にとり組む状況を確認していただきながら、取組を充実させていきます。